

## 特集

友好都市 宮城県 角田市とのきずな

## 最初のつながりは室町時代！

目黒区と角田市の関わりは、なんと遠く室町時代にまでさかのぼります。今の目黒区周辺を治めていた武士の目黒氏一族が、現在の宮城県角田市に移り住んだのが、その始まりと伝えられています。現在の交流は、昭和57年に区制50周年企画で目黒氏の足跡をたどり、約250人の区民が角田市を訪問したことから始まります。これまでの角田市との交流をまとめた「きずな年表」で、交流のエピソードをたどります。

図広報課区報係 ☎5722-9486、☎5722-8674

## 目黒区と角田市きずな年表

※歴史については諸説あります



## 角田市で農村体験

区は小学5・6年生を対象に、角田市で農家の生活を体験する農村体験を行っています。コロナ禍で2・3年度は実施できませんでしたが、元年度は納豆作りや野菜の収穫などを体験しました。参加者の声を紹介します。



LINEでのやり取りなどでその後も交流

高谷颯大さん

ホームステイや農業体験を通じて、角田に友達ができ、その後もLINE(ライン)を交換したり、夏休みに遊びに行ったり、とても楽しい思い出ばかりです。角田の農家で初めてビニールハウスに入って野菜を収穫し、ピザを焼いて食べたのを思い出します。



伊藤翔大さん

近所付き合いなど、角田の人たちは地域のつながりが強く、やさしい人たちがたくさんいると感じました。農業体験では、早朝の野菜の収穫や初めて乗ったトラクターなど、楽しいことばかり。農家の庭先で食べた流しうめんや花火が、いい思い出になりました。



角田バーガーのおいしさや忘れられない

金子空斗さん

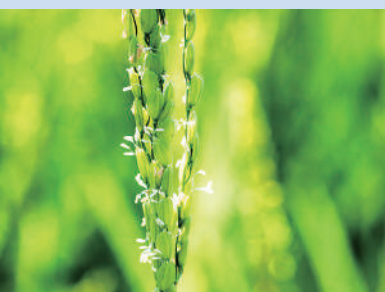
角田では、自然の素晴らしさを知ることができ、貴重な体験をいろいろさせてもらいました。目黒に帰ってからも、農家のかたから野菜を送っていただき感謝しています。忘れられないのは、米粉のパンズと梅ソースが特徴の角田バーガーのおいしさ。また食べたいです。



稲の花が見られたのは幸運でした

菊池嘉文さん

興味があつた農業体験ができて感激でした。農家の皆さんがやさしく接してくれたのも、うれしかったです。短い期間しか咲かないという稲の花が見られたのも幸運でした。みんなでわいわい食べたバーベキューもおいしかったなあ。また遊びに行きたいです。



角田市は、区の国内最初の友好都市です。小学生が両都市を訪問し合うホームステイや農村体験、災害時の職員派遣、区民まつりなどでの特産品の出店などで交流を深めています。今号は角田市広報との共同企画。コロナ禍の今、訪れることは難しいですが、両都市の広報紙で互いの魅力を紹介し合い、紙面で交流します。目黒区が紹介される「広報かくだ」10月号は、角田市(右コード)に掲載されるので、ぜひご覧ください。また、4面では角田市の魅力の詰まった読者プレゼントもあります。



## 宮城県で一番宇宙に近いまち角田

魅力がいっぱい！

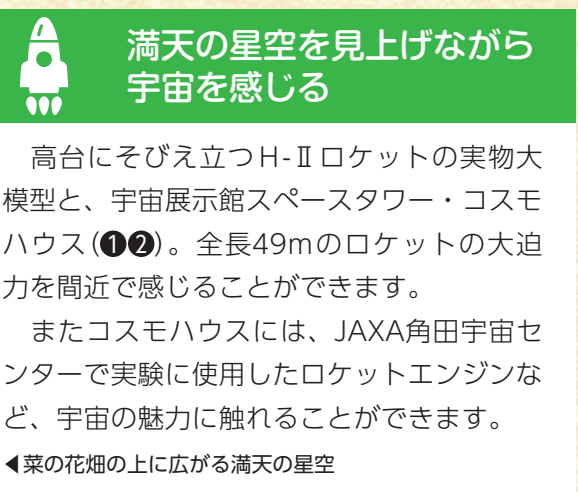
宮城県南部に位置する角田市は、阿武隈川が南北に流れ、周囲は阿武隈山地の山々に囲まれた低地盆地で、遠くに蔵王連峰が望める風光明媚(ふうこうめいび)な田園都市です。

江戸時代には、伊達家一門である石川氏の城下町として栄え、独自の歴史文化が築かれてきました。

また、日本のロケットエンジンの研究開発を行っているJAXA(ジャ

クサ)角田宇宙センターがあり、市内中心部にある台山公園にはロケットの実物大模型をはじめ、展望塔スペースタワーや宇宙展示館コスモハウスがあり、宇宙が身近にあるまちという一面も。

角田の農産物など魅力を集めた「道の駅かくだ」を中心に、宇宙っこまつり、うめ〜梅まつり、阿武隈リバーサイドマラソン大会などのイベントを楽しむことができます。

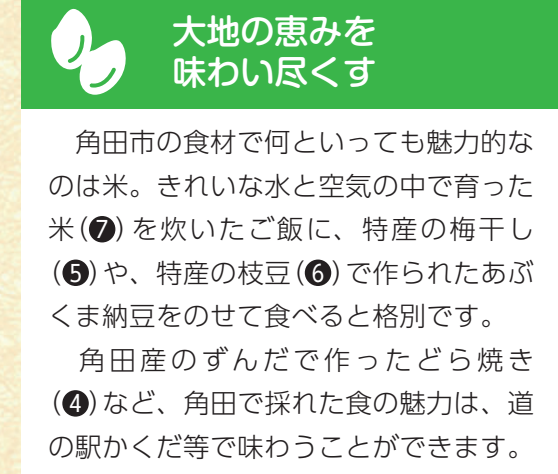


満天の星空を見上げながら宇宙を感じる

高台にそびえ立つH-IIロケットの実物大模型と、宇宙展示館スペースタワー・コスモハウス(12)。全長49mのロケットの大迫力を間近で感じることができます。

またコスモハウスには、JAXA角田宇宙センターで実験に使用したロケットエンジンなど、宇宙の魅力に触れることができます。

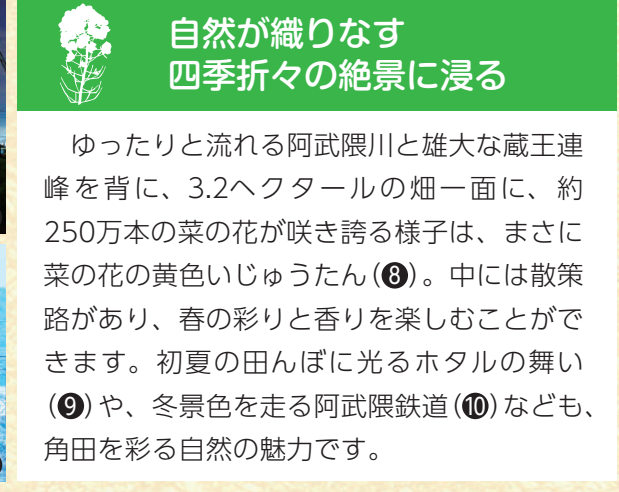
▲菜の花畑の上に広がる満天の星空



大地の恵みを味わい尽くす

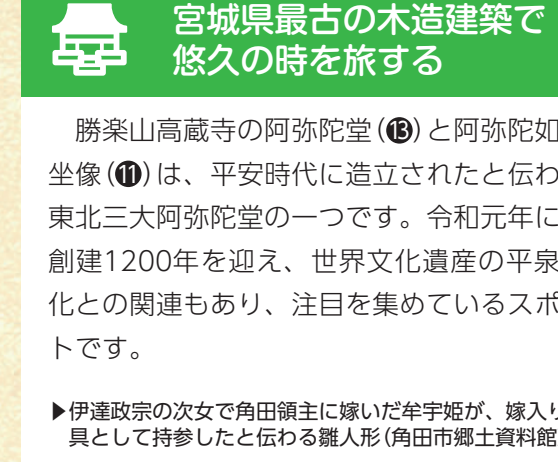
角田市の食材で何といっても魅力的なのは米。きれいな水と空気の中で育った米(7)を炊いたご飯に、特産の梅干し(5)や、特産の枝豆(6)で作られたあぶくま納豆をのせて食べると格別です。

角田産のずんだで作ったどら焼き(4)など、角田で採れた食の魅力は、道の駅かくだ等で味わうことができます。



自然

ゆったりと流れる阿武隈川と雄大な蔵王連峰を背に、3.2ヘクタールの畑一面に、約250万本の菜の花が咲き誇る様子は、まさに菜の花の黄色いじゅうたん(8)。中には散策路があり、春の彩りと香りを楽しむことができます。初夏の田んぼに光るホタルの舞い(9)や、冬景色を走る阿武隈鉄道(10)なども、角田を彩る自然の魅力です。



宮城県最古の木造建築で悠久の時を旅する

勝山高蔵寺の阿弥陀堂(11)と阿弥陀如来坐像(11)は、平安時代に造立されたと伝わる、東北三大阿弥陀堂の一つです。令和元年には創建1200年を迎え、世界文化遺産の平泉文化との関連もあり、注目を集めているスポットです。

▶伊達政宗の次女で角田領主に嫁いだ牟宇姫が、嫁入り道具として持参したと伝わる雛人形(角田市郷土資料館蔵)



歴史